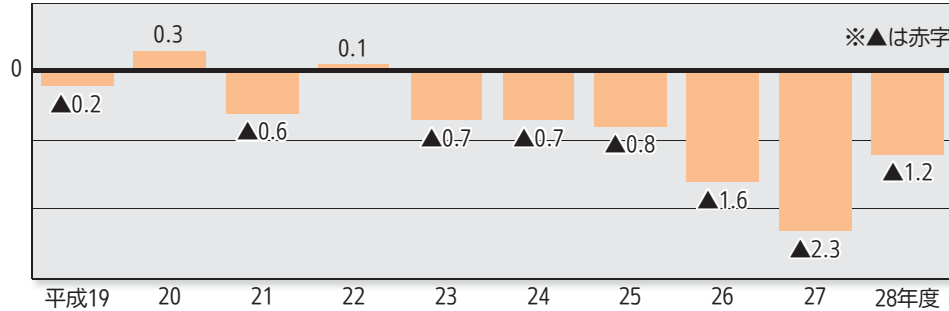


直近10年間の損益の状況

■平成28年度の純損失 1億2千万円（28年度末の累積欠損金17億9千万円）

単位：億円



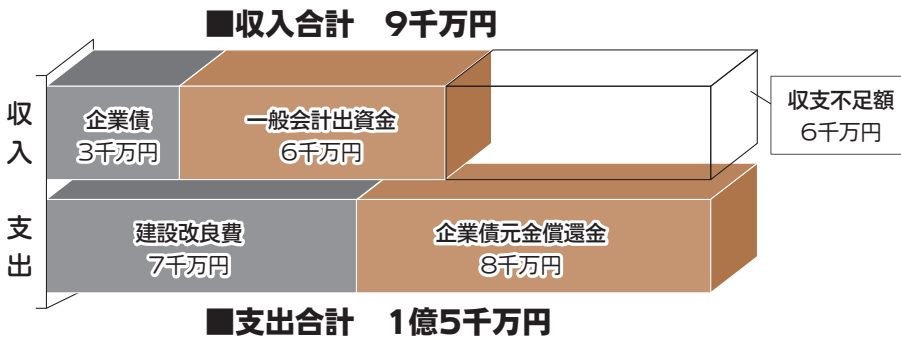
【19年度末累積欠損金 10億4千万円】

「累積欠損金」とは、各年度の損失額を累積したものをいいます。言い換えれば、事業開始以来の赤字を積み上げたものです。

なお、累積欠損金には、減価償却費などの現金の支出を伴わない費用も含まれているため、直接病院事業の資金不足につながるものではありません。

資本的収支

<建物や医療機器などの整備費用とその財源、企業債元金償還金など>

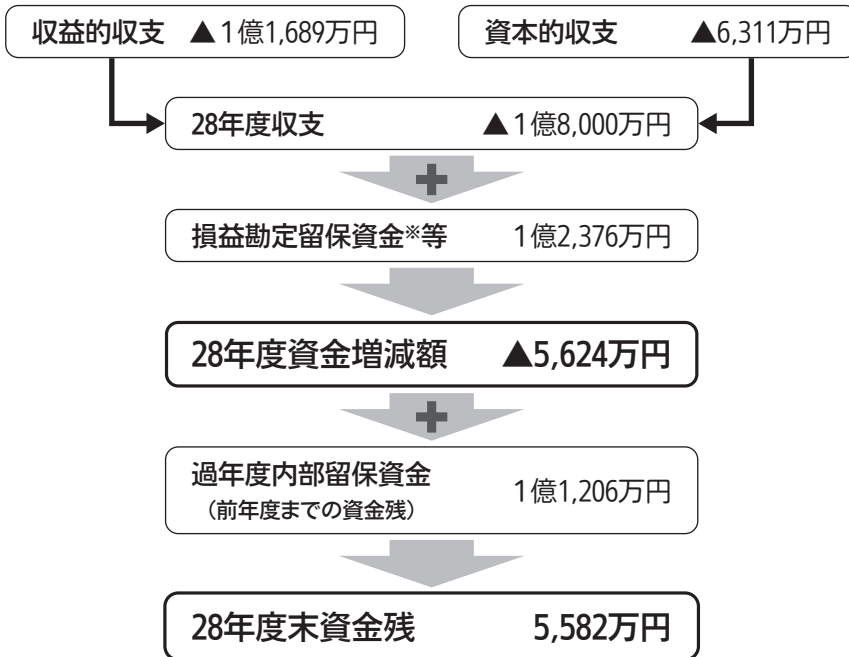


《建設改良費の内訳（主事業）》
 ●医療機械購入等 4,000万円 [放射線科一般撮影機器 (FPDシステム) ほか]
 ●病院整備 3,000万円 [病棟用エレベーター改修工事ほか]

収入では、医療機器整備のため企業債約3,000万円を起こした他、一般会計出資金として市の一般会計から約6,000万円の出資を受け、医療機器などの整備、企業債償還に充てました。

支出では、医療機器整備などのため建設改良費として約7,000万円、企業債元金償還金として約8,000万円を支出しました。

資金の状況



※「損益勘定留保資金」とは、現金支出を伴わない減価償却費や資産減耗費など企業の内部に留保される資金です。

パブリックコメント期間を延長 ご意見をお寄せください

「国保匠瑤市民病院建替整備基本構想・基本計画(案)」のパブリックコメント期間を、10月15日(日)まで2週間延長して実施します。

資料の公表場所…市ホームページと次の施設の玄関ホールなど〔①市民病院 ②市役所③野栄総合支所④市民ふれあいセンター⑤保健センター⑥八日市場公民館⑦八日市場ドーム⑧のさかアリーナ〕

眼科外来 受付時間の変更

10月から、眼科外来の受付時間が次の通り変更となりました。

変更後の受付時間…月・水・金曜日の8時30分～11時(祝日を除く)

※10、11ページに関する問い合わせは市民病院☎72-1525まで

平成28年度 病院事業

決算概要と経営状況をお知らせします

平成28年度の病院事業会計の決算概要をお知らせします。

市民病院の建て替え整備に関する基本構想・基本計画の検討を進める中で、病院の経営状況を市民の皆さんに知っていただくため行うものです。

※この決算概要には、介護老人保健施設（そうさぬくもりの郷）事業分は含まれていません。



決算概要 事業収支は約1億2千万円の赤字

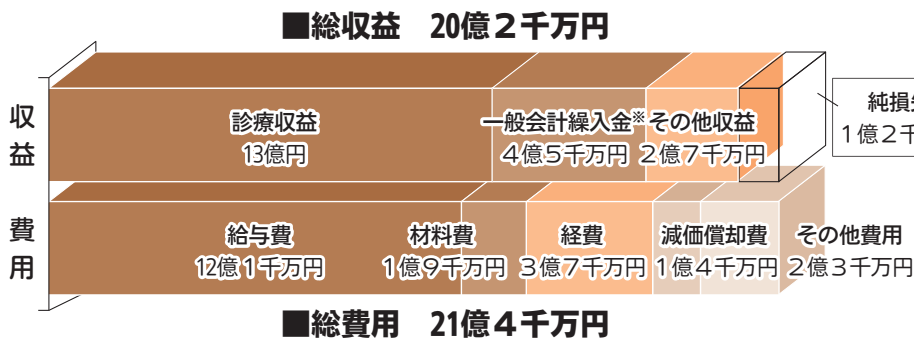
収益面では、入院・外来の「診療収益」、「一般会計繰入金」、訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所収益を含む「その他収益」が増加しましたが、費用面でも、「給与費」、訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所費用を含む「その他費用」が増加したことにより、収支は1億

1,689万円の純損失（赤字）となりました。

この中から現金を伴わない収益と費用を除いた資金収支は5,624万円の不足で、平成27年度までの資金残1億1,206万円からこれを差し引いた結果、28年度末資金残は5,582万円となりました。

収益的収支

<病院の経営活動で発生する収益とそれに対応する費用（＝1年間の経営成績）>



診療収益は、入院が約7億6,000万円、外来が約5億4,000万円とともに前年度より増でした。一般会計繰入金は新たな補助が加わったことで、前年度より約9,000万円増の約4億5,000万円でした。

給与費は医師手当、賃金の増などで前年度より増、材料費は薬品購入額の減により前年度より減となりました。

※「一般会計繰入金」とは、市の一般会計から繰り出される補助金などで、その繰り出しの一部には地方交付税の措置があります。

前年度との比較

【総収益】 対前年度 2億9,322万円 (17.0%) の増

診療収益	対前年度 7,110万円 (5.8%)
入院・外来収益の増により前年度から5.8%の増	
一般会計繰入金	対前年度 9,265万円 (26.1%)
不採算地区病院補助*の受け入れにより前年度から26.1%の増	
その他収益	対前年度 1億2,947万円 (94.6%)
訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所収益の介護老人保健施設事業からの移し替えにより94.6%の増	

【総費用】 対前年度 1億7,848万円 (9.1%) の増

給与費	対前年度 5,670万円 (4.9%)
処遇改善のための医師手当の増により前年度から4.9%の増	
材料費	対前年度 ▲2,634万円 (▲11.9%)
薬品購入額の減により前年度から11.9%の減	
経費	対前年度 56万円 (0.2%)
光熱水費・保険料・委託料の減と、修繕費・賃料の増で0.2%の増	
減価償却費	対前年度 ▲385万円 (▲2.8%)
その他費用	対前年度 1億5,141万円 (204.1%)
訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所費用の介護老人保健施設事業からの移し替えにより204.1%の増	

28年度決算の経常損失 1億1,627万円

⇒ 前年度から1億1,449万円の改善

特別利益 0円

特別損失 62万円

純損失（赤字）1億1,689万円

⇒ 前年度から1億1,474万円の改善

※「不採算地区病院補助」とは、病床数が150床未満で、直近の国勢調査に基づく当該病院の半径5km以内の人口が3万人未満である病院（第2種）に対して交付される特別交付税を原資として、一般会計から繰り出される補助金です。